



カタツムリに血液は流れているの

血液は流れている

カタツムリにも心臓があり、血管の中を血液が流れています。しかし、簡単な作りで、心臓から出た血管はすぐなくなって、血液は体の中に流れこんでいきます。血液はふたたび心臓にもどってきます。このような血管を、解放血管系といいます。

高等な動物の血管は、どんどん枝分かれして細い血管となり、体のすみずみにまでいきわたり、ふたたび心臓にもどってきます。血液は、血管以外を流れることはありません。このような血管を、閉鎖血管系といいます。

血の色はうすい青

貝類の血の色は、うすい青です。カタツムリを切っても赤い血が出ないので、血がないと思いがいするのにも当たり前です。人間の血が赤いのは、ヘモグロビンという色素の色で、中心に鉄の原子があります。カタツムリの血には、鉄のかわりに銅が入ったヘモシアニンという色素があります。うすい青色は、この銅の性質です。

アカガイ（赤貝）にはヘモグロビンがある

貝類の血はヘモシアニンですが、例外はあります。アカガイ（赤貝）がそうで、赤いヘモグロビンをもっています。（監修・中山 周平）

